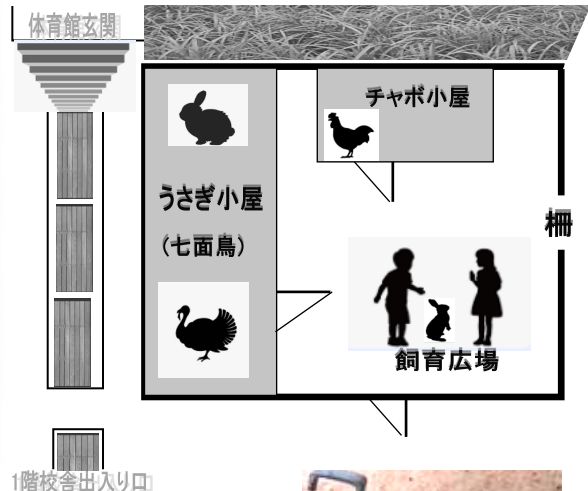


平成6年(1994)ごろ

うさぎ・チャボ・七面鳥を飼育

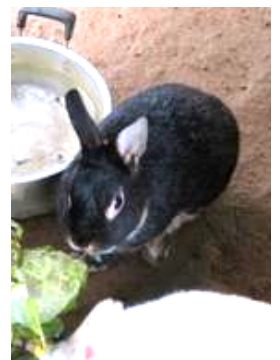


たいいくかん こうしゃ あいだ わた ろうか あた ごや とうばん
体育館と校舎の間の渡り廊下辺りにうさぎ小屋がありました。当番で
かくかてい やさい も き えさ
各家庭からくず野菜などを持って来て、それを餌にしていました。うさぎ
ごや さく なか ひと こや た か
小屋の柵の中にもう一つ小屋を建ててチャボも飼うようになりました。チャ
たまご う たまご とうばん こ も かえ
ボは卵を産み、卵は当番の子が持って帰ることができました。

あな ほ かなあみ さく そと に よなか たぬき
うさぎは穴を掘って金網の柵の外へ逃げたり、夜中にきつねか狸などに
おそ し あか う こ
襲われて死んでしまったこともありました。うさぎが赤ちゃんを産むと子ども
さわ おや あか ころ
たちがすぐに触ってしまうので親うさぎが赤ちゃんを殺すこともありまし
なつ ごや すず しゅつぽつ
た。夏はうさぎ小屋は涼しいのでマムシが出没することもありました。

なまえ かしこ あな ほ だっそう
クロという名前のうさぎはとても賢く、よく穴を掘って脱走しました
じぶん もど き こや けもの なんと
が、いつもしばらくすると自分から戻って来ていました。小屋が獣に何度
おそ とし かしこ に い のこ
か襲われた時も賢いクロだけは逃げて生き残りました。

しちめんちょう か しちめんちょう さんしゅるい い
七面鳥も飼われるようになり、うさぎ・チャボ・七面鳥の三種類の生き
もの か しちめんちょう ちい こ せたけ おお
物を飼うようになりました。しかし、この七面鳥は小さな子の背丈より大
み まちが こ け くちばし
きく、ダチョウと見間違えるほどでした。子どもたちを蹴ったり嘴でつつ
きょうぼう だっそう うんどうじょう こうしゃ 1かい はし
いたりするので、とても凶暴でした。脱走をして運動場や校舎1階を走り
たいへん どうじ ふじたせんせい なつ
まわることもあって大変でしたが、その当時みえた藤田先生にだけは懐いて
きょうぼう しちめんちょう はまいば しのはら いえ ひ と
いました。やがて凶暴な七面鳥は浜井場の篠原さんの家に引き取られまし
しのはら いえ きょうぼう
た。篠原さんの家では凶暴ではなくなったそうです。



情報提供：千藤真理子